1　国語

学校番号	1013

令和２年度　国語科

教科	国語科	科目	国語総合	単位数	5	年次	１年
使用教科書	新編国語総合（東京書籍）						
副教材等	漢字練習ワーク						

1 担当者からのメッセージ

・さまざまなジャンルの文章に触れ、読み、書き、話し、聞く力を高めましょう。
・音読を中心として、有名な古文と漢文の作品に親しみましょう。
・正しく心情等を理解するために語彙力や文法の知識をしっかりと身に付けてください。
・提出物の期限は守りましょう。定期考査は学習計画を立てて臨んでください。

2 学習の到達目標

・文章の構成や展開を的確に理解できる。
・豊かな語彙で自分の考えを適切に表現できる。
・伝統的な言語文化に対する関心を持ち、国語を尊重する態度を育んでいる。
・古典の読解を通して様々な思想や感情に触れ、現代社会との相違点や問題点などを考察し、人間や文化への理解を深める。
・古典文法の知識を身に付けるとともに、言語に対する関心を深める。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	課題に対する関心を深め、国語を尊重して進んで読解したり、表現したりしようとする。	課題に対する理解を深めた上で、的確に音読したり、聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめている。	文章に表れた思想や特徴を読み取り、適切に説明したり、意見を記述したりする。	文章を的確に読み取った上で、登場人物や思想について理解を深める。	課題に取り組む上で必要な文法や語彙、文化について理解し、知識を身に付けている。
主たる評価方法	行動の観察 記述の点検 （ノート、プリント等）	行動の観察 （発表等）	記述の確認 （ノート、プリント等）	記述の確認 （ノート、プリント等） 定期考査	行動の観察 記述の確認 （ノート、プリント等） 定期考査 小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
1学期	随想・評論	【現代文】 随想「ルリボシカミキリの青」 評論「無彩の色」	○		◎		○	a：筆者の主張を読み取り、自然に対する興味関心を広げている。 c：読み取った内容を的確に表現できている。 e：語彙を養うことができている。	a、c:行動及び記述の観察 e:小テスト及び定期考査
	小説・詩	【現代文】 小説「とんかつ」 詩「空をかついで」	○	◎			○	a：登場人物の心情を読み取ることができる。 b：論理の構成や展開を工夫して意見を述べようとしている。 e：文章の形態や文体の違いについて理解している。	a、b:行動の観察 e:小テスト及び定期考査
	古文	【説話】 教材: 『宇治拾遺物語』 「児のそら寝」 文法等…歴史的仮名遣い、五十音図	○			◎	○	a:古文と現代文の違いを理解し、古文に親しむ。 d:文章に描かれている人物の心情を表現に即して読み、異なる立場から読み深めている。 e:歴史的仮名遣い、五十音図など古文を読むための基礎を理解している。	a、d:行動の観察 e:小テスト及び定期考査
		【随筆】 教材: 『今鏡』 「用光と白波」 『宇治拾遺物語』 「絵仏師良秀」 文法等…文語動詞の基礎	○			◎	○	a:音読や読解を通じて、古文に親しもうとしている。 d:口語訳を通じて、古文を正確に読み、理解している。 e:古語の意味や動詞の活用を理解している。	a:行動の観察 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査
2学期	小説・短歌俳句	【現代文】 小説「羅生門」 短歌・俳句	○			◎	○	a：近代小説の名作に親しみ、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにする。 d:文章に描かれている人物の心情を表現に即して読み、異なる立場から読み深めている。 e：時代背景を理解し、言葉や表現法の特色を理解している。	a、b:行動の観察 e:小テスト及び定期考査
	随想・小説	【現代文】 随想「鍋洗いの日々」 小説「ほおずきの花束」	○		◎		○	a：文章の構成や展開を確認し、書き手の意図をとらえようとしている。 c：論拠に基づいて自分の考えを文章にまとめることができる。 e：新出の語句等を理解している。	b:行動及び記述の観察 e:小テスト及び定期考査

	古文	【随筆】 教材: 『徒然草』 「亀山殿の御池」 「奥山に、猫またといふものありて」 文法等…用言の活用	○			◎	○	a:音読や読解を通じて、古文に親しもうとしている。 d:口語訳を通じて、古文を正確に読み、理解している。 e:古語の意味や用言の活用を理解している。	a:行動の観察 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査
		【歌物語】 教材: 『伊勢物語』 「芥川」 「筒井筒」 文法等…音便等	○			◎	○	a:音読や読解を通じて、古文に親しもうとしている。 d:和歌を解釈し、登場人物の心情などを理解している。 e:文法の基礎事項が定着している。	a:行動の観察 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査
3学期	評論	【現代文】 評論「真の自立とは」	○	◎			○	a:文章の構成や展開を確認し、書き手の意図をとらえようとしている。 b:論拠に基づいて自分の考えを話すことができる。 e:新出の語句等を理解している。	a、b:行動の観察 b:記述の確認 e:小テスト及び定期考査
	漢文	【訓読の基本】 教材: 「訓読の基本」	○			◎	○	a:訓読の基本を学び、習得しようとしている。 d:文章の組み立てや骨組みを的確に捉えている。 e:返り点や助字、置き字について理解している。	a、d:行動の観察 e:小テスト及び定期考査
		【故事成語】 教材: 「故事三編」	○			◎	○	a:故事成語の成り立ちと意味を理解しようとしている。 d:漢文を訓読して口語訳し、内容を理解している。 e:返り点や助字、置き字について理解し、正しく訓読できる。	a:行動の観察 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:話す・聞く能力　c:書く能力
d:読む能力　e:知識・理解

※　評価の観点のうち「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については、すべての単元に位置付けて○印を、また、その単元で主として扱う国語の領域（「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」）に関わる観点には◎を付している。